

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
サイバーキャンパスコンソーシアム  
第2回 生物学グループ運営委員会 議事概要

I. 日時 平成24年7月13日(金) 10:00~12:30  
場所 公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局会議室

II. 出席者 伊藤委員、須田委員、佐野委員 (事務局 井端、森下、平田)

III. 検討事項

前回に続いて学士力実現に求められる教育改善モデルについて検討することにし、生物学教育における教育改善モデルの実現に求められる教育力と、教育力を実現するためのFD活動、大学の課題について以下のとおりまとめた。

1. 教育改善モデル実現に求められる教育力の検討

生物学はあらゆる領域と密接に関連していることから、基礎知識の体系化と関連づけを学ばせ、社会に出た後で地球レベルでの諸問題を生物学的視点で解決できるようにすることが教育の大きな目標であることをから2つのモデルでそれぞれ必要な教育力について検討した。

検討は、教育改善モデル2つについて 2.1 授業デザイン、2.2 授業の仕組み、2.3 授業にICTを活用したシナリオを確認、この教育改善モデル実現に求められる教育力を検討した。

1. 2 検討の視点

2. 1 教育改善モデル1

生物学の基礎知識を身に付けさせることを目標としている「モデル1」で必要な教育力を以下のように検討した。

- (1) 基礎知識の体系化や様々な分野との関連性から、カリキュラム上の位置づけの理解や現代社会と生物学との関連付け、初年次以降も継続して身に付けさせる能力が重要であることを確認し、モデル1と2に共通の教育力として「授業のカリキュラム上の位置づけを十分に理解し、カリキュラムポリシーに沿った授業を実施できること。」が必用なことを検討した。
- (2) 必要な基礎知識について興味をもって学びに結び付けるための工夫や授業マネジメントの力が必用なことを検討した。
- (3) 現代社会と生物学の関わりの理解、生物学的視点での判断力の育成には初年次教育終了後も学内の関連分野の授業と連携した統合プログラムの構築が必要であることから、このための教育力を検討した。

2. 2 教育改善モデル2

生物学の視点から生物とそれを取り巻く環境に関連する問題について考えることができることを目標とし、生物学の関連分野が幅広いため以下のような教育力を検討した。

- (1) 他の教員や専門家との連携についてコーディネートできる能力が必要なことを検討した。
- (2) 基礎知識が身につけているか振り返りを行わせ、社会に関与する姿勢を身に付けさせるためのグループ学習や、社会へ教育成果を発信できる能力が必要であることを検討した。

3. 教育改善モデル実現に求められる教育力

以上の検討を踏まえて、以下のように教育力をまとめた。

- ① 授業のカリキュラム上の位置づけを十分に理解し、カリキュラムポリシーに沿った授業を実施できること。
- ② 生物学の知識を実際の事例などを用いて日常生活と関連づけて理解させられること。
- ③ 初年次教育終了後も関連分野の授業と連携し、学修を継続させる仕組みを支援できること。

- ④ ICTを活用して地球レベルの諸問題を生物学的視点から考察するための教材を作成し、共有できること。
- ⑤ 関連分野の教員や社会の専門家などの協力を得るためにコーディネートができること。
- ⑥ グループ学習を取り入れ、進捗状況に応じた指導ができること。
- ⑦ ICTを活用して学修成果を発表させ、学内外の評価を通じて到達度を確認し、改善できること。

## 2. 教育力を実現するためのFD活動と大学としての課題

1の教育力に必要なFDとしては、カリキュラムポリシーと授業との整合性、学びの継続、ICTの活用力、グループ学習の指導がとりわけ重要であること、大学の課題としては、教員支援スタッフの対応、コンテンツのアーカイブ化、連携の仕組みの支援が必要なことから、次のようにまとめた。

### (1) FD活動

- ① 教員間の連携のもとに授業内容とカリキュラムポリシーとの整合性の確認および検討を継続的に行う必要がある。
- ② 様々な分野の研究報告会および授業参観等に積極的に参加し、教職員間で学修を継続させる上での問題点や到達度などを共有し、意見交換することが必要である。
- ③ カリキュラムポリシーを実現するためのICTの効果的活用法についてのワークショップを行う必要がある。
- ④ グループ学習を促進する指導法についてのワークショップを組織的に行う必要がある。

### (2) 大学としての課題

- ① 学務系職員、ICT技術系職員の教育支援能力の開発(SD)を組織的に行う必要がある。
- ② 授業の録画、教材コンテンツ、ネットワーク上のディスカッションを可能にするための多様なコンテンツをアーカイブする必要がある。
- ③ 関連分野の教員や社会の専門家などから協力を得るために、連携の呼びかけ、制度の整備および財政的な支援を行う必要がある。

## 3. 今後の検討スケジュール

今回は、8月9日(木)10:00より開催し、過去にまとめた生物学の学士力について解説や説明を加えることを確認したが、次回検討のための作業分担は行わなかった。